


事業番号	15 05 01	事業改善シート（令和2年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	「探究的な学び」推進事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課
			実施期間	H30～	E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進		1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり			
	2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保					

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】	<p>・社会の大きな変化の中で、将来を見通すことが困難な時代を、子どもたちが社会の担い手として生き抜いていくために、自ら立てた問いに対して協働しながら最適解を見つけ、新たな価値を創造していく資質・能力を育成していく必要がある。あわせて、一度しかない自分の人生を構想する力、信州に根ざしたアイデンティティと世界に通じる広い視野についても育成していく必要がある。</p>										
	【目指す姿】	<p>・高校での学びを従来の知識を蓄えることを中心とした学びから、他者と協働した能動的な活動の過程で考察・理解を深めることを中心とする「探究的な学び」に転換していく。その学びの中で、生徒が「知識・技能」とともに「思考力・判断力・表現力等」や「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく身に付けるようにする(1-1)。</p> <p>・生徒が「探究的な学び」を地域や世界の中で深めることで、自己の在り方や社会との関わりについて、地域に根ざしたグローバルな視野で考え、自ら構想したキャリアデザインを実現できるようにする(1-2,2-6)。</p>										
	【実施内容】	<p>科学教育推進事業、学力向上推進事業、キャリア教育推進事業、グローバル人材育成事業 など</p>										
指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]												
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況	事業 コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度		
								前年度繰越				
1	基礎学力に係る測定ツールにおいて全国の上位4分の1に入る本県生徒の割合(高2)	未集計	31.2%	33.0%	↑	30%		達成	現計予算	444,022	464,979	
2	基礎学力に係る測定ツールにおいて全国の下位4分の1に入る本県生徒の割合(高2)	未集計	26.2%	25.9%	↑	24%		未達成	合計(A)	444,022	464,979	
3	海外への留学者率(高校生)	0.96%	0.33%	↓	0.01%	↓		1.20%	未達成	うち一般財源	333,599	329,836
4	全国大会・ブロック大会出場文化系クラブ数	21	21	→	21	→		21	達成	決算額(B)	360,638	385,321
									職員数(人)	13	13	
成果指標設定理由	<p>1、2. 高校生のための学びの基礎診断」等に基づく数値であり、全国の状況と比較しながら基礎学力の定着度合いを測ることができ、経年比較が可能であるため。</p> <p>3. 第3次長野県教育振興基本計画の中でも成果指標として掲げられており、生徒の主体的なグローバルな学びの状況を測ることができ、経年比較が可能であるため。</p> <p>4. 平成30年度の第42回全国高等学校総合文化祭開催を契機とし、高校生のレベルアップが図られたかを明確に示す全国大会等の出場クラブ数を成果目標として設定。</p>											
達成状況の分析	<p>1. 基礎学力上位の割合が高くなり、目標値も上回っている。</p> <p>2. 基礎学力下位の割合が低くなり、目標値に近づいてきている。</p> <p>3. コロナ禍の影響により、信州つばさプロジェクト(留学にかかる一部費用を県が補助)による新規留学者は0人、個人での留学者が4名にとどまった。</p> <p>4. 全校高等学校総合文化祭高知大会21部門(WEB開催)、全国選抜オーケストラフェスタ(WEB開催)、関東高等学校演劇研究大会(WEB開催)、北信越地区高等学校自然科学部研究発表会(論文審査)に参加した。</p>											
主な取組	<p>〇WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業に上田高校が、共同実践校(松本県ヶ丘高校)と共に指定</p> <p>・連携校13校 : 須坂高校 長野高校 長野西高校 篠ノ井高校 屋代高校 上田染谷丘高校 野沢北高校 諏訪清陵高校 諏訪二葉高校 伊那北高校 伊那弥生ヶ丘高校 飯田高校 松本深志高校 諏訪清陵高校 諏訪二葉</p> <p>地域との協働による高校教育改革推進事業に3校が指定</p> <p>・地域魅力化型 : 白馬高校</p> <p>・プロフェッショナル型 : 飯田OIDE長姫高校</p> <p>・グローバル型 : 長野高校</p> <p>〇参加型、探究学習型イベントを開催</p> <p>・信州グローバルユースセミナー(小布施サマースクール)</p> <p>・高校生学びのフォーラム長野(マイプロ長野県Summit)</p> <p>・信州サイエンスキャンプ等</p>											
	 <p>WWL成果発表会</p>											

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
<p>今後、事業をどのようにしていきたいか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、海外への留学は実施困難であった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、海外研修、フィールドワーク、コンソーシアムと協働した校外での活動に制約が出てしまった。 ・変化が激しく予測困難な時代に直面する中、「新たな社会や価値を創造する力」を育成するため、大学や企業等と連携した探究的な学び、多様で新たな学びを推進していく必要がある。 ・コロナ禍において、部活動の取組や大会等の開催方法が変わることに対応する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で海外留学・海外研修が実施できない状況が続いているが、オンラインで交流するなど可能な活動を実施していく。 ・コンソーシアムと共同し、オンラインでの取組を効果的に活用しながら、実施可能な方法で計画を推進していく。 ・オンラインを活用して、成果発表会や報告書を公開する他、高校同士の交流や情報交換を積極的に行い、他校への展開や成果の普及に努めていく。 ・これまでの活動方法にとらわれずに新しい方法に対応できるようにするため、専門部と連携していく。

事業名	「探究的な学び」推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課
-----	---------------	----	----------	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
1	グローバル人材育成事業	214,135	191,299 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	地域との協働による高校教育改革推進事業（グローバル型）	直接	グローバルな視点を持ち地域を支えるリーダーを育成するため、地域をフィールドにした課題研究を英語を用いて発信し、国際的な討論へと発展させる長野高校のカリキュラム開発を行う。 【研究指定校：長野高校】
2	地域との協働による高校教育改革推進事業（WWL型）	直接	イノベティブなグローバル人材を育成するため、拠点校を中心に国内外の大学や企業、国際機関と協働し、カリキュラム開発や高校生国際会議を開催する等、高校生に高度な学びを提供する仕組みを構築し、将来的には全国の拠点校同士がネットワークで結ばれることを目指す。 【拠点校：上田高校・協働実践校：松本県ヶ丘高校】
3	海外での学び推進事業	直接	高校生の留学気運の向上を図るため、有志高校生が主体となって企画する留学促進プロジェクトとして、留学フェアの開催や、事業の広報活動等を行う。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施せず。 【参加者数等：報告会 0回、計0人。フェア0人】
4	海外での学び推進事業	負担金	高校生の海外留学の「最初の一步」を支援するため、教育委員会と連携協定を結んでいる台湾をはじめ、米国、カンボジア、マレーシア等で、県が企画する短期留学プログラムを実施する。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施せず。 【参加者数：0人】
5	海外での学び推進事業	補助金	高校生の留学者数を倍増させるため、個人留学に対して、行先と期間に応じて経費の一部を補助する。補助金交付先：県内の高校生 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施せず。 【参加者数：0人】
6	留学キャラバン・高校生海外研修事業	直接	高校生の海外大学進学を促進させるため、国費による学校単位の留学支援、海外大学進学者との座談会や海外大学進学・留学個別相談会等をオンラインで3回実施。 【参加者数：104人】
7	信州英語教育ルネサンス事業	直接	英語4技能をバランスよく育成するため、小・中・高校の英語教員を対象にしたアップスキル研修、及び中学生を対象にしたスピーキングコンテスト等を実施する。 【高校アップスキル研修会7回実施、193名参加】
8	信州英語教育ルネサンス事業	委託	高等学校入学者選抜におけるスピーキングテスト導入に向けた事前調査を実施する。（委託先：民間事業者）→文科省の事業がなくなったため実施無し。
9	外国語指導助手（ALT）配置事業	直接	高校生の豊かな英語コミュニケーション力と異文化理解のため、県立高校等へ外国語指導助手を配置する。 【ALT配置高等：32校、36人】
10	外国語指導助手（ALT）配置事業	委託	高校生の豊かな英語コミュニケーション力と異文化理解のため、県立高校等への外国語指導助手の配置を業務委託する。 委託先：民間事業者 【委託校数等：7校、7人】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
2	カリキュラム編成支援事業	90,785 千円	88,211 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	カリキュラム編成支援事業	直接	県立高校が特色あるカリキュラムを編成し、キャリア形成につながる学びや「主体的・対話的で深い学び」を推進するため、非常勤講師等を配置する。 【配置件数：非常勤講師77校, 222人。学習支援員38校, のべ46人】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
3	学力向上推進事業	18,153 千円	9,955 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	教育課程改善推進事業	直接	新学習指導要領の実施と「探究的な学び」の実現のために、教育課程と授業改善の研究を進め、県下4地区での協議会を開催する。 【各教科の分科会は実施したが、4地区で行われる協議会はコロナの影響で中止 開催回数：0回。参加人数：0人】
2	高大接続改革対策支援事業	直接	高大接続改革や探究的な学びに向けた各校の取組・実践を推進するために、研究協議会、研修会等の実施と各校の取組に対する支援を行う。 【探究的な学び研究会1回開催。入試専用情報システム30校導入】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
4	科学教育推進事業	19,451 千円	6,220 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	科学オリンピック養成講座	直接	将来世界で活躍できる科学技術関係人材を育成するため、各種科学コンテストを勝ち抜くことのできる実力の養成をはかる講座を、大学教員等を講師として実施する。 【実力養成講座4回延べ43人参加、75人が地区予選に出場】
2	サイエンス・アソシエーション・プロジェクト	直接	ものづくりやイノベーションを支える理系人材を育成するため、県立高校が企画する産学連携等を活用した科学技術に関する国内外の研修に係る経費を助成する。 【採択状況：国内研修12校14件(うち2校2件がCOVID-19の影響で中止)。海外研修1校1件(COVID-19の影響で中止)。】
3	サイエンス・アソシエーション・プロジェクト	補助金	ものづくりやイノベーションを支える理系人材を育成するため、県立以外的高校等が企画する産学連携等を活用した科学技術に関する国内外の研修に係る経費を助成する。 【補助件数：国内研修1校1件45人】
4	スーパーサイエンスハイスクール指定校支援事業	直接	将来の国際的な科学技術関係人材を育成するため、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業の指定校に対する事業支援と指導を実施する。 【指定校3校(飯山、屋代、諏訪清陵)。飯山と屋代は令和3年度からの継続新規採択される。】
5	信州サイエンスキャンプ	直接	県内高校へのSSH事業の成果普及を促進するとともに、理数系教育の質の向上と科学技術関係人材の育成のため、科学の甲子園県予選や課題研究合同研修会を実施する。 【参加者等：コンテスト11校16チーム106人。合同研修会16校180人。ミーティング15校185名、82件。それぞれ規模を縮小して開催(ミーティングはオンライン)。】
6	信州みらいクリエイターズ育成事業	直接	プログラミングについて、他の教員を指導できる実力を持つ教員を育成するため、プログラミング教育フェロー養成研修を実施する。 【プログラミング教育フェロー参加者：14人】

7	信州みらいクリエイターズ育成事業	委託	「信州ものづくり教室」及び「信州Makersキャンプ with MIT メディアラボ」の実施に係る業務を委託する。委託先：民間事業者 【参加者：Makers教室 コロナの影響で中止、Makersキャンプ オンラインで実施16人】
---	------------------	----	---

細事業No.	細事業名	R1年度決算	R2年度決算
5	STEAMプラットフォーム推進事業	4,844 千円	1,212 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	信州グローバルユースセミナー	直接	グローバルな視点から新たな社会を創造する資質・能力を育成するために、外国人留学生などの多様な人々とオンラインで対話し、リベラルアーツを深める体験的プログラムを実施する。 【小布施ウィンタースクール参加者：高校生13人、中学生募集なし】

細事業No.	細事業名	R1年度決算	R2年度決算
6	学校芸術文化振興事業	17,800 千円	7,228 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	長野県高等学校文化・芸術フェスティバル	負担金	高校生の芸術文化活動の活性化を図るため、県・支部単位で開催される創作活動成果の発表会について、開催経費の一部を負担する。 交付先：県高等学校文化連盟 【県大会 のべ404校、485団体、3,669人】 【支部大会 のべ204校、232団体、2,303人】
2	高等学校文化振興事業(大会生徒派遣事業)	交付金	高校生の文化活動の、より高いレベルでの成果発表を支援するため、全国大会、ブロック大会に出場する生徒の参加経費の一部を補助する。 交付先：県高等学校文化連盟 【交付金補助なし】
3	高等学校芸術文化鑑賞事業	直接	定時制・通信制の高校、小規模校が芸術文化鑑賞に触れる機会を確保するため、学校行事として行う芸術文化鑑賞に関する公演料と交通費の一部を助成する。 【助成費：11校、828人】
4	2018信州総祭を次世代につなぐ文化部活性化業	負担金	2018信州総文祭開催を契機にレベルアップした文化部活動が継続的に発展するとともに、その成果を普及させるために、技術講習会等の実施経費を負担する。 負担先：県高等学校文化連盟の該当する専門部 【補助件数1件。8校、のべ57回の講習会 966人】
5	ウィーン楽友協会との姉妹提携事業	直接	小諸高校音楽科生徒の中から世界レベルの音楽技術を習得した音楽家を輩出するため、ウィーン楽友協会との姉妹提携を生かし、一流の音楽家による実技指導等の機会を提供する。 【新型コロナウイルスの影響で中止】

細事業No.	細事業名	R1年度決算	R2年度決算
7	「高校生学びのフォーラム&信州学」推進事業	2,436 千円	7,018 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	「信州学」推進事業	直接	地域の中にある課題を発見、解決する能力の育成を図るとともに、信州に根差した確かなアイデンティティと世界に通じる広い視野を育成するために、地域に根差した探究的な学びの推進を支援する。 【全県立高校で実施】
2	「高校生学びのフォーラム」推進事業	委託	優れた指導者のファシリテートのもと、各校の探究的な学びの質を高めるために、学校の枠を超えて生徒が一同に会して、課題意識や取組内容、学びの成果を発表し合い、互いに自らの今後の成長の方向性を確認する機会を提供する。 【マイプロ長野県Summit 参加校21校、参加者数71人】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
8	地域との協働による高校教育改革推進事業（地域魅力化型・プロフェッショナル型）	5,829 千円	4,516 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	地域との協働による高校教育改革推進事業（地域魅力化型）	直接	主體的に地域課題に取り組む高校生を育成するため、白馬高校の地域をフィールドにした教科横断的な課題解決学習のカリキュラム開発を支援・指導する。 【研究指定校：白馬高校】
2	地域との協働による高校教育改革推進事業（プロフェッショナル型）	直接	地域産業の発展や新たな産業の創造に貢献できる人材を育成するために、飯田OIDE長姫高校において地域産業コンソーシアムと連携し、地域課題解決に取り組むカリキュラム開発を行う。 【研究指定校：飯田OIDE長姫高校】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
9	キャリア教育推進事業	5,005 千円	800 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	キャリアデザイン力育成事業	直接	生涯にわたるキャリアデザイン力を育成し、発達段階に応じた社会的・職業的自立を図るために、就業体験活動等の経費を補助する。 【キャリア・チャレンジ・プログラム：損害賠償保険補助対象校65校、補助対象生徒数3,583人】
2	高等学校教科競技大会派遣事業	負担金	教科競技の振興を図ることで専門性を高めた学びを実現するため、専門高校の全国大会等への参加に係る経費を補助する。 交付先：高等学校教科競技大会に参加する団体 【補助対象校0校、補助対象生徒数0名】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
10	修学旅行の中止又は延期に伴うキャンセル料等支援事業	0 千円	838 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	修学旅行の中止又は延期に伴うキャンセル料等支援事業	補助金	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う修学旅行等の中止等により生じたキャンセル料等の損害を補填 交付先：児童生徒の保護者 【補助件数：県立高校1件（校）】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
11	県立学校修学旅行取消料等支援事業	0 千円	68,024 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	修学旅行の中止又はに伴うキャンセル料等支援事業	補助金	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う修学旅行等の中止により生じたキャンセル料等の損害を補填 交付先：児童生徒の保護者 【補助件数：県立高校61件（校）、県立中学2件（校）】